

## 三菱重工業株式会社（2021年グリーンボンド）

契約の種類：アニュアルレビュー

日付：2024年2月27日

担当者：

Akshay Chandrakapure, [akshay.chandrakapure@morningstar.com](mailto:akshay.chandrakapure@morningstar.com)

Sidharth P R, [sidharth.pr@morningstar.com](mailto:sidharth.pr@morningstar.com)

本アニュアルレビューは、サステナリティクス社が英語で作成した「Annual Review (February 2024)」の参考和訳として、三菱重工業株式会社が翻訳したものです。  
英語版が正本であり、本参考和訳との間で不一致がある場合は、英語版が優先しますので、英語版も併せてご覧ください。

### はじめに

2021年9月、三菱重工業株式会社（以下、「三菱重工」）は、再生可能エネルギー／クリーンエネルギーに関連するプロジェクトへのファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（5年債150億円、以下「2021年グリーンボンド」）<sup>1</sup>。その調達資金は、2023年3月31日時点で計2件の再生可能エネルギー／クリーンエネルギープロジェクトに充当されています。2024年2月、三菱重工は、2021年グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）<sup>2</sup>で設定された資金使途のクライテリアやレポートイングの指標に合致しているかについての評価を、サステナリティクスに委託しました。本レビューは、2023年3月に行ったサステナリティクスによる三菱重工の2021年グリーンボンドのレビュー<sup>3</sup>に続く、2回目のレビューとなります。

### 評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2021年9月から2023年3月の間に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

- フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
- フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標に関する報告

充当を受けた調達資金の使途のカテゴリに対する適格クライテリア及び関連するインパクト指標を表1に示します。

<sup>1</sup> 三菱重工「三菱重工業株式会社第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（第2回三菱重工グリーンボンド）」：  
<https://www.mhi.com/jp/finance/stock/esg/greenbond>

<sup>2</sup> 三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワークは、こちらよりご覧頂けます。：  
<https://www.mhi.com/jp/finance/stock/esg/greenbond/framework.html>

<sup>3</sup> サステナリティクス「アニュアルレビュー（三菱重工）（2020年グリーンボンド）（2023年3月）」：  
[https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/mitsubishi-heavy-industries-ltd.-green-bond-2021-annual-review-\(2023\)-japanese.pdf?sfvrsn=6d624a82\\_1](https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/mitsubishi-heavy-industries-ltd.-green-bond-2021-annual-review-(2023)-japanese.pdf?sfvrsn=6d624a82_1)

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及びインパクト指標

調達資金の使途	適格クライテリア	インパクト指標
再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業	<p>三菱重工グループが取り組む以下の基準を満たす再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業に対する新規支出及びリファイナンス（研究開発資金、事業開発・事業運営資金、運転資金等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 水素発電の場合、100%水素発電に向けた事業・プロジェクトであること（但し、水素発電の設備に係る研究開発への充当は予定していない）</li> <li>ii. 地熱発電の場合、CO<sub>2</sub>排出量が100gCO<sub>2</sub>/kWh以下であること</li> <li>iii. 法人への出資の場合、当該法人が再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業専業又は売上の90%以上を再生可能エネルギー／クリーンエネルギー関連で占めていること</li> <li>iv. 事業・プロジェクトへの支出の内、設備投資費等（CAPEX）については関連するグリーンボンドの発行日から遡って7年以内に、運営費（OPEX）については関連するグリーンボンドの発行日から遡って3年以内に実施されたものであること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 対象事業に関連する再生可能エネルギー／クリーンエネルギー施設の年間発電量（MWh）、年間CO<sub>2</sub>削減量（トン）</li> <li>▪ 研究開発の進捗状況に関する情報（参加プロジェクトの概要等）</li> </ul>

## 発行体の責任

三菱重工は、プロジェクトの概要説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家にESGに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界を牽引するサステナリティクスは、三菱重工の2021年グリーンボンドによる調達資金の使途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の評価のため、三菱重工からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、三菱重工から提示された情報と事実に依拠しています。三菱重工が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価については社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>4</sup>、サステナリティクスはすべての重要な側面において、三菱重工業の2021年グリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワークで規定された資金使途及びレポーティングの指標に適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。三菱重工は、サステナリティクスに対し、2021年グリーンボンドの調達資金が2023年3月31日時点で全額充当されていたことを開示しました。

<sup>4</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、正確な情報を提供する責任のある、発行体から提供されたプロジェクトの詳細に関する文書の調査が含まれます。これにはプロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなどを含む場合があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 調査結果の詳細

表2：調査結果の詳細

評価基準	調査手順	調査結果	特定された過失 または例外
資金使途 クライテリア	2021年9月から2023年3月の間に、2021年グリーンボンドの調達資金が充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティング クライテリア	2021年9月から2023年3月の間に、2021年グリーンボンドの調達資金が充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されているインパクト指標と適合する形で報告されたかを検証。	審査したプロジェクトにおいて、フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標が報告されていました。	該当なし

## 参考資料

### 参考資料1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

調達資金の用途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェクト概要	調達資金の 充当額 (百万円)
再生可能エネルギー/ クリーンエネルギー事業	風力発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱重工が出資・保有する洋上風力発電設備専門法人であるMHI Vestas Offshore Wind A/S（「MVOW」）<sup>5</sup>の全株式のVestas Wind Systems A/S（「Vestas社」）への譲渡及びVestas社株式取得に関するリファイナンス</li> </ul>	13,931
	水素発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>水電解装置会社であるHydrogenPro ASへの出資に対するリファイナンス</li> </ul>	1,000
<b>調達資金の充当額合計：</b>			14,931
<b>調達資金の未充当額合計：</b>			0
<b>グリーンボンド発行による調達資金の手取り額合計<sup>6</sup>：</b>			14,931

<sup>5</sup> 三菱重工とVestas Wind Systems A/S（Vestas社）の合併会社であるMHI Vestas Offshore Wind A/S（MVOW）

<sup>6</sup> グリーンボンド発行額150億円から発行費用を除いた金額

参考資料2：プロジェクトのインパクト一覧<sup>7</sup>

調達資金の使途の カテゴリー	サブ カテゴリー	インパクト指標 <sup>8</sup>		
		年度 <sup>9</sup>	年間発電量 (MWh)	年間CO <sub>2</sub> 削減量 (万トン)
再生可能エネルギー／ クリーンエネルギー事業	風力発電	2016	981,602	49
		2017	3,176,087	160
		2018	5,499,659	277
		2019	7,610,776	384
		2020	9,772,989	493
		2021	55,819,561	2,813
		2022	94,362,019	4,756
		水素発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 水の電気分解で水素を製造する水電解装置の開発・生産を手掛けるノルウェーのHydrogenPro ASIに出資</li> <li>▪ HydrogenPro ASIは、西部アメリカの系統において、水電解質装置を導入中です。同プロジェクト完成時には、HydrogenPro ASの220MWアルカリ電気分解システムの使用により、水素製造能力は100トン／日に到達する計画です<sup>10</sup>。</li> </ul>	

<sup>7</sup> 三菱重工によるインパクトレポートは、こちらよりご覧頂けます：<https://www.mhi.com/jp/finance/stock/esg/greenbond>

<sup>8</sup> 当該インパクトは、風力発電設備の開発・設計・製造を完了した後、稼働が想定される2016年度以降の理論値です。2016年度から2020年度までは、三菱重工とVestas社との合併会社（三菱重工の株式持分50%）であるMHI Vestas Offshore Wind A/S（MVOW）の納入実績に基づく数値を報告しています。

2021年度からは、2020年12月に三菱重工がMVOWの株式持分全て（50%）をVestas社に譲渡し、同時にVestas社の株式を約500万株（約2.5%相当）取得したため、Vestas社の納入実績に基づく数値を報告しています。

<sup>9</sup> 各年度の対象期間は、4月1日から翌年3月31日までです。

<sup>10</sup> Hydrogen Pro (2022), "\$504 million loan guarantee granted world's largest renewable hydrogen energy project" (English Only), at: <https://hydrogen-pro.com/2022/06/30/504-million-loan-guarantee-granted-worlds-largest-renewable-hydrogen-energy-project/>